

目 次

第1章 総 論 (菊地 郁・金浜耕基) ...	1
1. 園芸および観賞植物という文字の意味.....	1
1) 園芸という文字の意味.....	2
2) 観賞植物という文字の意味.....	3
2. 観賞植物の生産状況.....	5
3. 観賞植物の分類.....	13
4. 観賞植物の形態的特徴.....	16
5. 切り花類の鮮度保持.....	17
第2章 四大切り花類	19
1. キ ク..... (腰岡政二) ...	19
1) 種類と分類.....	19
(1) 命名と伝来	19
(2) 形態と分類	20
(3) 観賞菊の主な種類と仕立て方	22
(4) 切り花用品種の主な種類	24
(5) 新規形質を持った切り花用品種の作出	25
2) 生理生態的特性.....	27
(1) 生態的特性	27
(2) キクの生育相	29
(3) 節間伸長と花芽形成	30
(4) 花芽形成能力と温度履歴	30
(5) 花芽形成の分子機構	31
(6) 花芽分化と花芽発達のための限界日長	32

3) 生産と流通	32
(1) 切り花用品種の苗生産	32
(2) 栽培方法と作型	33
(3) 主な生理障害	36
(4) 植物成長調整剤の利用	36
(5) 主な病害虫	37
(6) 切り花の生産と流通	37
2. バラ	(上田善弘) 39
1) 種類と分類	39
(1) 野生種とその分布	39
(2) 栽培バラの成立と品種分化	40
(3) 古典園芸品種群の成立	42
(4) 現代バラの成立	44
(5) 形態的特徴	46
(6) 花 色	49
(7) 香 り	50
2) 生理生態的特性	51
(1) 開 花 習 性	51
(2) 光と温度に対する反応	53
3) 生産と流通	53
(1) 繁殖と苗生産	53
(2) 栽培方法と作型	55
(3) 収穫後生理と鮮度保持	57
3. コリ	(小池安比古) 59
1) 種類と分類	59
(1) 原産と来歴	59
(2) 日本の主な固有種	59
(3) 世界の主な原種	62
(4) 今日の主要栽培品種群	64
(5) 形態的特徴	66

2) 生理生態的特性	68
3) 生産と流通	69
(1) テッポウユリの生理生態的特性と作型	69
(2) シンテッポウユリの生理生態的特性と作型	73
(3) アジアティック・ハイブリッドの生理生態的特性と作型	74
(4) オリエンタル・ハイブリッドの生理生態的特性と作型	77
(5) 主な病害虫	80
(6) 収穫後生理と鮮度保持	80
4. カーネーション (深井誠一)	81
1) 種類と分類	81
(1) 原産と来歴	81
(2) 種類と品種	82
(3) 形態的特徴	83
2) 生理生態的特性	84
(1) 栄養成長	84
(2) 開花習性	84
3) 生産と流通	85
(1) 作型	85
(2) 苗生産	86
(3) 定植と栽植密度	87
(4) 整枝	88
(5) 温度管理	89
(6) 灌水と施肥	90
(7) 採花	91
(8) 主な生理障害	91
(9) 主な病害虫	91
(10) 収穫後生理と鮮度保持	92
(11) 切り花の生産状況	93
(12) 切り花の輸入	94
(13) 消費特性	95

第3章 主要切り花類	97
1. 洋ラン類 (山根健治) ...	97
1) 種類と分類.....	97
(1) 主な種類	97
(2) 主な切り花用洋ラン類	98
(3) 原産と来歴	100
(4) 形態的特徴	101
2) 生理生態的特性.....	103
(1) 適応性と生育条件	103
(2) 光合成特性	103
(3) 花芽形成と開花過程	104
(4) 花芽形成と開花に及ぼす外的要因	105
3) 生産と流通.....	106
(1) 実生繁殖	106
(2) メリクロン繁殖	107
(3) 株分け	108
(4) 作型	108
(5) 栽培管理	109
(6) 主な生理障害	111
(7) 主な病害虫	112
(8) 収穫後生理と鮮度保持	114
(9) その他の課題	116
2. トルコギキョウ (佐藤武義・金山喜則) ...	117
1) 種類と分類.....	117
(1) 原産と来歴	117
(2) 品種改良の歴史	118
(3) 形態的特徴	120
2) 生理生態的特性.....	120
(1) 温度反応	120
(2) 日長反応	122

3) 生産と流通	126
(1) 作型	126
(2) 栽培管理	127
(3) 主な生理障害	128
(4) 主な病害虫	128
(5) 収穫後生理と鮮度保持	129
(6) 切り花の生産と流通	129
3. シュッコンカスミソウ (西山 学・金山喜則)	131
1) 種類と分類	131
(1) 主な種類	131
(2) 原産と来歴	131
(3) 主な品種	132
(4) 品種の育成方法	132
(5) 形態的特徴	133
2) 生理生態的特性	134
(1) 生態の基本	134
(2) 成長と開花に及ぼす温度の影響	135
(3) 成長と開花に及ぼす日長の影響	135
(4) 花芽形成に及ぼす光強度と光質の影響	136
(5) 花芽形成の分子機構	137
(6) ロゼットの形成と打破	138
3) 生産と流通	139
(1) 栽培の基本と作型	139
(2) 苗生産	140
(3) 主な生理障害	141
(4) 植物成長調整剤の利用	142
(5) 主な病害虫	142
(6) 収穫後生理と鮮度保持	142
(7) 花の臭い	143
(8) 切り花の生産と流通	144

4. アルストロメリア	(篠田浩一)	145
1) 種類と分類		145
(1) 主な種類		145
(2) 原産と来歴		145
(3) 主な品種(群)の育成経過		147
(4) 形態的特徴		150
2) 生理生態的特性		151
(1) 花芽形成と開花		151
(2) 地上茎の形成と根茎の成長		153
(3) 越冬性		153
3) 生産と流通		154
(1) 繁殖と苗生産		154
(2) 栽培方法と作型		155
(3) 主な病害虫		157
(4) 収穫後生理と鮮度保持		158
5. デルフィニウム	(小笠原宣好)	159
1) 種類と分類		159
(1) 原産と来歴		159
(2) 主な系統と品種の特徴		160
(3) 形態的特徴		163
2) 生理生態的特性		164
(1) 発芽		164
(2) 生育温度と花芽誘導条件		165
(3) 花芽形成と花序の発達		165
(4) ロゼットの形成と打破		166
3) 生産と流通		167
(1) 苗生産		167
(2) 播種期と生育開花反応		168
(3) 作型		168
(4) 栽培管理		170

(5) 主な病害虫	170
(6) 収穫後生理と鮮度保持	171

第4章 花木類・鉢物類・苗物類..... (居城幸夫) ... 173

1. 花 木 類..... 173

1) アジサイ

(1) 原産と来歴

(2) 種類と品種

(3) 生育と開花習性

(4) 繁殖方法と栽培方法

2) ツバキ.....

(1) 原産と来歴

(2) 種類と品種

(3) 生育と開花習性

(4) 繁殖方法と栽培方法

3) ツツジ.....

(1) 原産と来歴

(2) 種類と品種

(3) 生育と開花習性

(4) 繁殖方法と栽培方法

2. 鉢 物 類..... 185

1) シクラメン..... 185

(1) 原産と来歴

(2) 種類と品種

(3) 生育と開花習性

(4) 繁殖方法と栽培方法

2) プリムラ

(1) 原産と来歴

(2) 種類と品種

(3) 生育と開花習性

(4) 繁殖方法と栽培方法	191
3) ポインセチア	191
(1) 原産と来歴	191
(2) 種類と品種	192
(3) 生育と開花習性	193
(4) 繁殖方法と栽培方法	193
3. 苗物類	195
1) パンジー	195
(1) 原産と来歴	195
(2) 種類と品種	196
(3) 生育と開花習性	196
(4) 繁殖方法と栽培方法	197
2) サルビア	197
(1) 原産と来歴	197
(2) 種類と品種	198
(3) 生育と開花習性	199
(4) 繁殖方法と栽培方法	199
3) ペチュニア	200
(1) 原産と来歴	200
(2) 種類と品種	200
(3) 生育と開花習性	201
(4) 繁殖方法と栽培方法	202
第5章 ガーデニングの教育理念	203
1. フレーベルの花壇と教育理念	(田淵俊人) 203
1) 世界最初の幼稚園の誕生	204
2) ペスタロッチーの影響とフレーベルの世界観	205
3) 幼稚園における庭の必然性	206
4) フレーベルの幼稚園における子どもたちの庭	207
(1) 幼稚園の庭の設計と使用方法	207

(2) 幼稚園の庭における子どもたちの活動	208
(3) フレーベルの庭の区分と庭での活動の具体例	209
(4) 幼稚園の庭の意義と効果	210
5) 幼稚園の庭における子どもたちの情緒の高まり	211
6) 婦人と若い女性への幼稚園の啓発	212
7) わが国における幼稚園の始まりと庭	213
2. ガーデニング教育の導入と発展 (金浜耕基)	217
1) 市民農園の教育理念	217
(1) イギリスの市民農園	218
(2) ドイツの市民農園	219
2) 教育機関におけるガーデニング教育	220
(1) 幼稚園と小学校におけるガーデニング教育	220
(2) 女子園芸学校におけるガーデニング教育	221
(3) 大学におけるガーデニング教育	222
3. ガーデニングの活用と園芸療法 (豊田正博)	225
1) ガーデニングの活用	225
(1) 学校におけるガーデニング教育	225
(2) まちづくりにおけるガーデニングの役割	226
2) ガーデニングの特徴と効果	227
(1) 五感の刺激効果	227
(2) ゆるやかに変化するいのちとの対話から生まれる効果	229
(3) 繰り返し作業の効果	230
(4) 利用および加工の効果	231
3) 園芸療法	231
(1) 農耕および園芸を健康改善に活用してきた経緯	231
(2) 園芸療法とは	232
(3) 園芸療法の手順	232
4) 園芸療法の実際	233
4. 近代園芸学の導入と発展の歴史 (加藤一幾・金浜耕基)	235
1) 日本園芸会の設立前夜	236

2) 日本園芸会の設立に貢献した人々	239
3) 日本園芸会の設立と発展	242
(1) 設立趣旨	243
(2) 初代会長の選出	243
(3) 歴代の会長と任期および副会長	244
(4) 日本園芸会の発展	244
4) 日本園芸会の歴代の会長が選出された経緯	245
(1) 初代会長に花房義質が選出された経緯	245
(2) 第2代会長に大隈重信が選出された経緯	246
(3) 第3代会長に鍋島直映が選出された経緯	248
(4) 第4代会長に有馬頼寧が選出された経緯	250
5) 園芸学会の発足	251
(1) 日本園芸会とのつながり	251
(2) 日本園芸会の役員と園芸学会の役員との関係	253
(3) 園芸学会の発展	254
あとがき	255
参考図書	259
索引	261